

青 営 大 号 外
令和3年12月15日

報道機関各位

青森県営農大学校長
(公 印 省 略)

令和3年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会について

このことについて、学生の課題解決能力やプレゼンテーション手法等の習得及び学習意欲の向上に資するため、2学年の学生が自ら課題を設定して調査・研究に取り組んだプロジェクト学習の成果発表会及び1学年の代表学生による意見発表会を別添要領のとおり開催しますので、取材してくださるようお願いします。

報道機関用提供資料	
担当部署	青森県営農大学校
担当者	教務研修課長 成田 真樹
電話番号	0176-62-3111(代表) 0176-62-3112(直通)
所属長	校長 比内 一道

令和3年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会開催要領

1 目 的

農業経営等に関して、2学年は自ら取り組んだプロジェクト学習の成果発表を通して課題解決の方法やプレゼンテーション手法等を習得し、1学年は将来の目標などについて意見発表し、学習意欲の向上を図る。

なお、本発表会は、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に出場するプロジェクト発表者及び意見発表者の代表者選考を兼ねるものとする。

2 主 催

青森県営農大学校

3 日 時

令和3年12月22日（水） 10:00～16:05

令和3年12月23日（木） 9:30～16:30

4 場 所

青森県営農大学校 体育館

(〒039-2598 青森県上北郡七戸町字大沢48-8 TEL 0176-62-3111)

5 日 程

【1日目】12月22日（水）			【2日目】12月23日（木）		
開会式	10:00～10:10		第5部	9:30～10:45	畑作6課題
意見発表	10:20～11:00	3課題	第6部	10:55～12:00	畑作5課題
第1部	11:10～12:00	果樹4課題	昼食	12:00～13:00	
昼食	12:00～13:00		第7部	13:00～14:15	畑作6課題
第2部	13:00～13:55	果樹4課題	第8部	14:25～15:30	畑作5課題
第3部	14:05～15:00	畜産4課題	審査	15:30～16:10	
第4部	15:10～16:05	畜産4課題	閉会式	16:10～16:30	講評・表彰

6 概 要

(1) 発表課題数

ア プロジェクト発表 38課題（畑作園芸課程22、果樹課程8、畜産課程8）

イ 意見発表 3課題

(2) 発表課題名及び発表順序

令和3年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会プログラムによる

(3) 発表時間

ア プロジェクト発表 1課題12分（発表10分、質疑2分）

イ 意見発表 1課題10分（発表8分、質疑2分）

(4) 発表方法

ア プロジェクト発表

- ・パワーポイント (Microsoft Office Power Point 2019) による発表とする。
- ・画面は4：3とし、動画の利用は時間内で行う。

イ 意見発表

- ・口演とする。

7 審査員

審査員長：上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室長

審査員：構造政策課担い手育成グループマネージャー

地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所栽培部長

地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所県南果樹部長

地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所繁殖技術肉牛部長

野辺地地区農業士会会長

かみきたViC・ウーマンの会会長

営農大学校長

営農大学教頭

8 審査報告及び講評

審査員長が行う。

9 表彰

(1) プロジェクト発表

最優秀賞：1 課題

優秀賞：2 課題

努力賞：3 課題以内

(2) 意見発表

最優秀賞：1 課題

優秀賞：1 課題

努力賞：1 課題

10 令和3年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会への代表者選考

(1) プロジェクト発表

上位得点3課題を本校代表とする。

(2) 意見発表

上位得点2課題を本校代表とする。

11 参集範囲

保護者、令和3年度学校関係者評価委員、外来講師、令和3年度農家実習受入農家

令和3年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会 プログラム

令和3年12月22日(水)

開会式 10:00~10:10

意見発表 10:20~11:00

No	課程	氏名	課題名
1	畑作園芸	畑 公 子	6次産業化における将来の展望とInstagramを活用したマーケティングについて
2	果 樹	倉 舘 蓮	生産者の経済性追求
3	畜 産	沢 目 桃 香	私の夢

プロジェクト発表 第1部 11:10~12:00

No	課程	氏名	課題名
1	果 樹	秋 山 大 悟	営大産の果実を使ったミックスジャムの商品化
2	果 樹	鎌 田 稜 央	ぶどう(シャインマスカット&サニールージュ)の断根を用いた樹勢の安定化と品質向上の検討
3	果 樹	佐 藤 郁 人	りんご園のスマート農業 ~ロボット草刈機の実用性の検討~
4	果 樹	中 野 大 翔	ぶどう「シャインマスカット」新梢への芽傷バサミ処理による果実品質アップ!

<昼 食> 12:00~13:00

プロジェクト発表 第2部 13:00~13:55

No	課程	氏名	課題名
5	果 樹	成 田 智 美	加工用りんごを使用した商品の提案
6	果 樹	松 尾 樹 々 生	ジュノハートの規格外品を利用した加工品の検討
7	果 樹	三 上 紘 典	ももの早期袋かけ及び、袋の違いによるせん孔細菌病被害の低減効果について
8	果 樹	山 野 康 輔	洋梨「ゼネラル・レクラーク」の有袋栽培がカメムシの被害及び果実品質に与える影響

プロジェクト発表 第3部 14:05~15:00

No	課程	氏名	課題名
9	畜 産	梶 本 大 稜	調教による子牛市場出荷牛の体重減少対策の検討
10	畜 産	工 藤 友 美	青森シャモロックの卵を使った加工品開発
11	畜 産	今 実 央	飼料添加剤「ビタコーゲン」による悪臭低減及び肉質向上
12	畜 産	澤 田 安 梨 菜	肉牛糞の堆肥化及び敷料への活用の検討

プロジェクト発表 第4部 15:10~16:05

No	課程	氏名	課題名
13	畜 産	品 木 真 衣	乳牛の乳房炎発生の制御
14	畜 産	足 沢 飛 翔	乳牛飼養における農業残渣エコフィードの利用価値検証
15	畜 産	中 川 拓 光	営農大学校の飼料作物生産量調査
16	畜 産	安 田 悠 人	ハズバンドガリートレーニングによる乳牛の調教

令和3年12月23日(木)

プロジェクト発表 第5部 9:30~10:45

No	課程	氏名	課題名
17	畑作園芸	秋田谷 陸斗	飼料用米の無代かき栽培導入による労働力分散と規模拡大の可能性について
18	畑作園芸	秋庭 剛己	ねぎ栽培における追肥作業の省力化
19	畑作園芸	伊賀 隆成	ながいものマルチ栽培の検討及び先端機械を利用した省力化・軽労化効果の実証
20	畑作園芸	岩間 義亘	ミニマトの誘引方法の違いによる省力化の検討
21	畑作園芸	岡山 凌也	にんにく栽培におけるイモグサレセンチュウ対策の各種土壌消毒剤の効果について
22	畑作園芸	加藤 雄己	メロン栽培における支柱打ち込み及びトンネル張りの機械化による省力化

プロジェクト発表 第6部 10:55~12:00

No	課程	氏名	課題名
23	畑作園芸	工藤 匡宗	定植前リン酸苗施用によるねぎのリン酸肥料削減の可能性
24	畑作園芸	小泉 隆ノ介	にんにく増殖2年目、3年目、4年目、5年目ごとの病気の出方と収量の比較調査
25	畑作園芸	今 奈緒哉	保有機で実施可能な高密度播種移植栽培による水稻育苗の省力化
26	畑作園芸	佐藤 汰省	アスパラガスハウス立茎栽培での早出し栽培の検討
27	畑作園芸	滝沢 兼太郎	にんにく栽培における各種葉面散布剤の検討

<昼食> 12:00~13:00

プロジェクト発表 第7部 13:00~14:15

No	課程	氏名	課題名
28	畑作園芸	丹藤 永希	高糖度中玉トマトの品種比較
29	畑作園芸	戸澤 桃香	スイートコーン栽培における早期出荷が可能な作型の検討
30	畑作園芸	中野 渡新	ねぎ栽培におけるユニフォーム粒剤の処理時期の検討
31	畑作園芸	濱田 真樹	消費者に好まれるすいかの品種検討
32	畑作園芸	肘井 優太	アスパラガスのハウス栽培におけるトンネル電熱線の効果
33	畑作園芸	船木 優杜	ミニマトにおける主枝更新と摘花房による着果調整技術の検討

プロジェクト発表 第8部 14:25~15:30

No	課程	氏名	課題名
34	畑作園芸	松林 光	ながいもにおける種いものガンク切除時期の違いによる収穫物への影響について
35	畑作園芸	三浦 大祐	にんにくの品質向上を目的とした肥料の比較検討
36	畑作園芸	村岡 葵	サイネリア鉢花栽培における開花期分散
37	畑作園芸	毛内 早汰	ミニマト「プチぷよ」シリーズの品種比較
38	畑作園芸	山本 武流	キク栽培におけるエスレル10利用における開花期分散

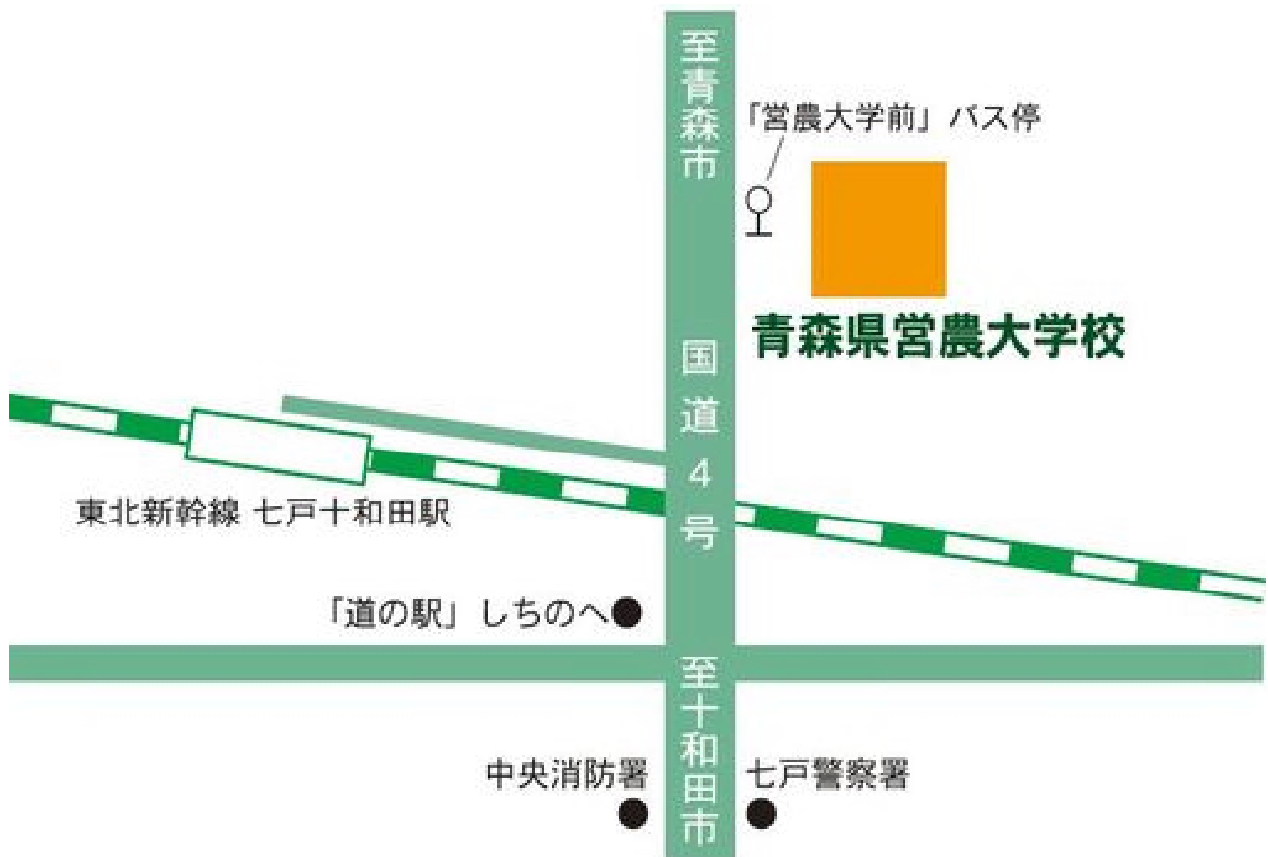
審査 15:30~16:10

閉会式 16:10~16:30

青森県営農大学校 案内図

所在地 青森県上北郡七戸町字大沢48-8

電 話 0176-62-3111



※東北新幹線七戸十和田駅（北口）から、徒歩8分

※十和田観光電鉄バス「営農大学前」バス停から、徒歩1分